

令和7年度 実施事業

公益目的事業 報告書



令和8年4月



一般社団法人
九州地域づくり協会
Kyushu Regional Management Service Association

笑顔をつなぐ地域づくり

一般社団法人九州地域づくり協会（前身は社団法人九州建設弘済会）は、昭和40年の設立以来約60年間にわたり、河川や道路を舞台とした九州各地のボランティア活動などの地域活性化支援や社会資本整備に関わる広報活動などに幅広く取り組んで参りました。

その中であって、社会資本整備に対する国民のニーズが多様化する状況を踏まえ、平成15年からは、若手研究者の育成等を兼ねた研究等助成事業、また平成17年度からは、当協会の創立40周年を記念して土木遺産発掘調査に取り組むなど、多様なニーズに応じて事業内容を充実させ今日に至っています。

さらに近年では、平成28年4月熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨、令和2年7月豪雨、令和7年8月豪雨をはじめとした九州地方における大災害に対

し、被災自治体や災害ボランティアへの支援等も積極的に取り組んでいます。

平成25年4月の一般社団法人移行にあたり、内閣府へ「公益目的支出計画」を移行認可申請書の一つとして提出し、内閣総理大臣より公益目的財産額の確定通知を受け、「公益目的支出計画」が確定しています。

この「公益目的支出計画」では、平成24年度までに実施してきた公益事業（収益を伴わない事業）をあらためて公益目的事業として位置付けし、社会貢献を続けています。

本報告書では、令和7年度に実施した公益目的事業について、九州各地の地域づくりや環境美化等の活動に活躍されている方々をご紹介します。

笑顔をつなぐ九州の地域づくりの参考となれば幸いです。

令和8年4月



●公益目的事業の募集及び運営について

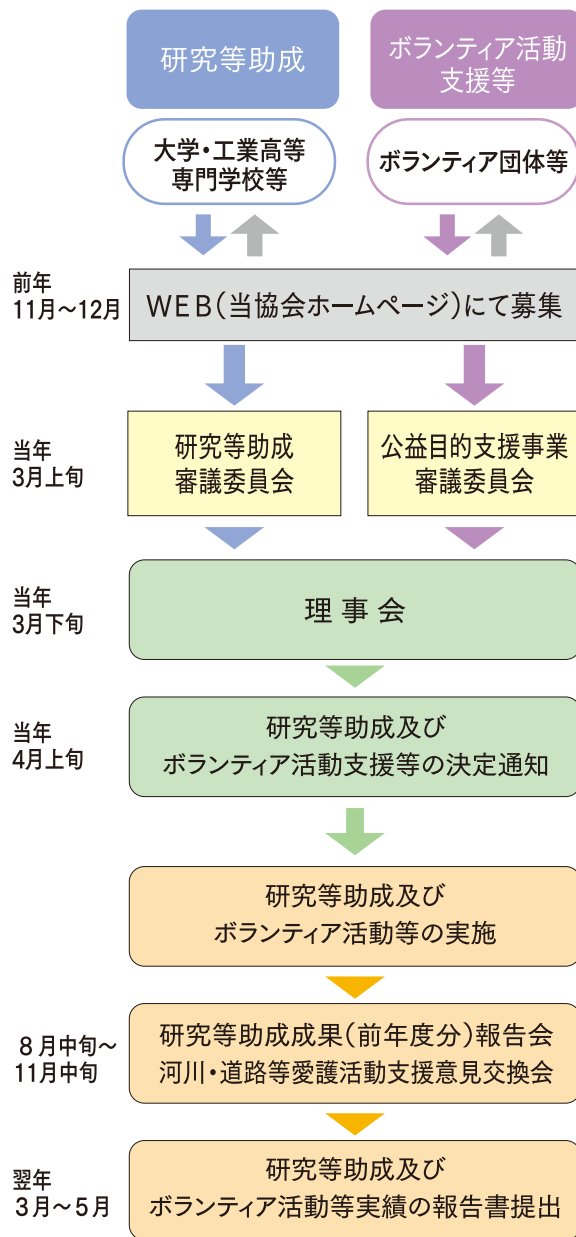
当協会では、公益目的事業として、
①社会資本整備に関する広報活動事業、②建設事業の推進及び普及のための調査研究事業、③地域活性化等支援事業、④防災活動等支援事業の4つを継続実施しています。

このうち、②の研究等助成事業は、平成25年度より、外部有識者から構成される「研究等助成審議委員会」を設け、幅広い意見を反映した運営を行っています。

また、①、③、④のボランティア活動等の支援事業についても、令和2年度より、外部有識者から構成される「公益目的支援事業審議委員会」を設け、幅広い意見を反映した運営を行っています。



詳細はこちらをご覧ください→



1

社会資本整備に関する 広報活動 事業

実施額
23.5
(百万円)

【事業の概要】

国土開発の発展及び地域社会の繁栄に寄与することを目的として、国及び地方公共団体と連携を図りながら国土交通行政、社会資本整備に関する広報啓発活動、講習会等を通じて、一般市民の社会資本に関する理解を深める活動を支援します。



広報活動等事業 p5

講習会等事業 p8

九州建設資料館運営事業 p11

2

建設事業の推進及び 普及のための 調査研究 事業

実施額
45.8
(百万円)

【事業の概要】

九州における社会資本整備の普及とさらなる理解を図ることを目的として、社会資本整備の歴史の調査研究を行うとともに、建設技術等の推進に関する調査研究及び人材育成への助成を行います。



調査研究事業 p12

- ①九州地域の社会資本整備の歴史
- ②防災に関する調査研究

研究等助成事業 p15

- ①大学等への研究助成事業
- ②人材育成に関する助成事業

3

地域活性化等 支援事業

実施額
17.2
(百万円)

【事業の概要】

社会資本整備に対する理解の醸成を目的として、河川・道路等の愛護活動を通じた地域活性化、体験学習等を通じた人材育成、地域インフラの愛護活動及び地域資源等を活かした地域活性化の活動を支援します。



- 河川・道路愛護活動を通じた
地域活性化活動支援事業 …… p17
- 環境(体験)学習による
人材育成活動等支援事業 …… p18
- 河川・道路等の愛護活動支援事業 …… p20
- 地域資源の活用による
地域活性化活動支援事業 …… p23

4

防災活動等 支援事業

実施額
20.2
(百万円)

【事業の概要】

安全・安心な暮らしに寄与することを目的として、近年の異常気象等により発生する災害に対し、公共土木施設等の整備・管理等に専門的なノウハウをもつ集団やNPO等が取り組む活動などを支援します。



- 災害被災地への復旧支援事業 …… p25
- 防災ボランティア活動等支援事業 …… p26
- 九州防災エキスパート会支援事業 …… p28

1

社会資本整備に関する 広報活動事業

広報活動等事業

●全国行事

令和7年度「国土交通Day」



フォトコンテスト(国土交通Day)

令和7年度「川の日」



出典:「川の日」実行委員会HP、公益社団法人 日本河川協会HPより



出典:「川の日」実行委員会HPより



●図書等の配布



交通事故防止キャンペーン



会報九州



公益目的事業報告書



研究等助成事業
成果報告書

社会資本の整備・利活用に向けた地域活性化や啓発活動につながる事業及び全国規模開催の「国土交通Day」「川の日」や、小・中学校で実施されている「交通事故防止キャンペーン」等へ図書を寄贈して協賛しています。

また、協会活動等を紹介する「会報九州」、河川・道路・地域づくり等の支援についての「公益目的事業報告書」及び大学等への助成についての「研究等助成事業成果報告書」を作成しています。

土木関連の広報イベントでは、土木の仕事の魅力や社会資本整備、防災対応の重要性等をPRするとともに、九州各地における様々な土木関連の広報活動についても支援を行っています。

更に、一般公募により、地域住民へ河川・道路・地域づくり等の理解を深める啓発活動(広報・学習活動等)やNPO等の社会資本整備に関する広報活動の支援を行っています。

令和7年度は、九州内の26の活動団体に対して支援を行いました。

I LOVE 遠賀川

特定非営利活動法人 遠賀川流域住民の会

事業の内容

- 芦屋海岸(なみかけ大橋、洞山、夏井ヶ浜、はまゆう群生地)での清掃活動
- 関係団体へのチラシ配布、ホームページやSNSでの情報発信

事業の効果

- 本年度の参加者は昨年より87人増えて、493人となり活動の輪が広がっています。
- 支援金を活用してバスを借り上げたことにより、上流から下流域まで幅広い地域から参加していただきました。
- この取り組みにより、多くの方に河川環境への関心を高めていただきました。



道守体験事業・道守交流会

道守佐賀会議

事業の内容

- 「みちづくし in のべおか 2025」への参加
- 佐賀城下ひなまつり清掃
- さが桜マラソン応援清掃

事業の効果

- 10月に催された「みちづくし in のべおか 2025」では、各県会議の取り組み状況などを学習できたことで、今後の道守活動に対する意識向上、知識向上につながりました。
- 道守事業の活動を佐賀会員41団体と協働作業を行うことにより、親睦が図れました。



ZOOM UP

川や水辺に関わる46団体が活動発表し、交流を深める

九州の河川流域で活動する市民団体、教育・行政機関、企業など46団体が遠賀川水辺館と直方の水辺に集まり、水環境の保全・改善、環境教育、防災意識の向上などについて多様な活動発表を行いました。川や水辺の活動に取り組む多様な世代の人々が情報交換や意見発表を行うことによって、次世代を担う人材の育成につなげ流域連携の理解を深めることができました。

子どもの部8団体、大人の部38団体の活動発表をはじめ、各団体のアピールタイム、基調講演、エクスカージョンなど、充実したプログラムであり2日間の参加者は延べ800名を数えました。協会からの支援金は音響設備、ステージ背景などの会場設営費に活用しています。



第24回九州「川」のワークショップin遠賀川実行委員会
坂本 榮治 代表



道守支援事業

特定非営利活動法人 道守長崎

事業の内容

- 道守九州会議との連携事業
- 道守長崎情報交流事業
- 花植え・清掃支援事業
- 道守情報発信事業

事業の効果

- 道守長崎情報交流事業での講演や活動報告を通じて、各地域の道守さんのモチベーションが高まりました。
- 道路清掃・花植え活動により、地域の美化啓発や綺麗なまちづくりに貢献しています。



土木の日大分行事

おおいた建設人材共育ネットワーク

事業の内容

- 庄の原佐野線現場見学
- 三井E&S大分工場見学
- スマホを用いた3次元測量体験

事業の効果

- 実施後のアンケートでは、建設業の仕事をしてみたいとの回答も多く、担い手確保にもつながっています。
- 参加者以外の方に関しては、タウン情報誌を使用し、見学会での様子を紹介。土木の魅力を発信しました。



宮崎県「土木の日」

宮崎県「土木の日」実行委員会

事業の内容

- 小学生を対象としたミニ講義＆現場見学会
- 県内11地区の小学校で「土木の日」イベント実施
- 「土木の日」パネル展

事業の効果

- 「土木の日」PR活動では、出前講座や体験実習を通して土木の仕事に対する興味喚起ができました。
- パネル展では展示の他、模型実験なども行い、広く市民に土木の仕事や防災に対する理解を深めていただきました。



講習会等事業

講習会等事業は、河川・道路・地域づくり・防災等の社会資本整備に関する講習会や、

地域活性化につながる活動団体の意見交換会を開催しています。

第12回 地域づくり政策セミナー

目的: 多様な人々が地域の中で居場所や希望を持って暮らし、働き、活動し、幸せを感じながら活躍できる社会を目指すために、地域の魅力や課題についてご議論いただき「地域力」を醸成する様々な取り組みについて知見をいただきました。

詳細・実施報告は
こちら→



日時: 令和8年1月13日(火) 13:30~17:00

会場: リファレンス駅東ビル 会議室Q 受講者150名(会場参加86名、Web参加64名)



養父 氏



伊藤 氏



吉武 氏



原口 氏



大熊 氏



和田 氏



石川 氏

セミナー内容

ローカルプレイヤーによる地域づくり～多様な人々が幸せを感じながら活躍できる社会～

1) 基調講演

「小さな物語が地域を動かす ～ローカルで始める価値づくり～」 (一社)九州のムラ 代表理事 養父 信夫 氏
「新たな九州圏広域地方計画について」 国土交通省 九州地方整備局 九州圏広域地方計画推進室 総括副室長 伊藤 浩和 氏
「これからの『国土のありかた』におけるローカルな実践がもつ意味」 九州工業大学大学院 工学研究院 教授 吉武 哲信 氏

2) 事例発表

「ばあちゃんたち高齢者の可能性を日本中に示す!」 うきはの宝(株) 代表取締役 大熊 充 氏
ばあちゃんたちと若者が協力して働くことで地方の田舎を元気にするモデルケース

「守るから繋ぐへ」 (株)なかの家 取締役 和田 梢 氏
高齢者や後継者不在で閉鎖する加工所などがあり現状維持＝守るでは繋がらない状況の中で労働環境などを見直し老若男女と稼ぐことが必要

「小さな町の生き残り戦略」 (株)まちの灯台阿久根 代表取締役 石川 秀和 氏
地域の課題からビジネスを創出し、事業から活動資金と人材を創出、稼いだお金で育てた人を町に投資する

3) パネルディスカッション ローカルプレイヤーによる地域づくり

- ・コーディネーター (株)YOUI 代表取締役 原口 唯 氏
- ・コメンテーター 九州工業大学大学院 工学研究院 教授 吉武 哲信 氏
(一社)九州のムラ 代表理事 養父 信夫 氏
- ・パネリスト うきはの宝(株) 代表取締役 大熊 充 氏
(株)なかの家 取締役 和田 梢 氏
(株)まちの灯台阿久根 代表取締役 石川 秀和 氏

①地域課題解決に取り組むきっかけ②多様な人々が幸せを感じながら活躍できる社会とは③今後の活動展開について、御意見をいただきました。

パネルディスカッションを通じて「地域に暮らす人の思い」「人と人との繋がり」「次の世代にバトンを渡す覚悟」が地域づくりを動かす!との思いを共有できました。



セミナーの様子



大変盛り上がったパネルディスカッション

令和7年度 河川・道路等愛護活動支援意見交換会

目的

令和7年度においては、これまでの参加者の皆さんからのご意見を踏まえ、地元で活動されている方々と接し身近に対話することで活動されている状況をより知るために、現地視察と意見交換会を開催しました。

日時: 令和7年11月12日(水) 14:00~17:00

場所: 九州地方整備局 鹿児島国道事務所

参加団体(9団体16名)

特定非営利活動法人 How to 21Club、道守かごしま会議、草牟田通り会、伊敷町通り会、鹿児島市立河頭中学校、鹿温会ボランティアグループ、日置市高齢者クラブ連合会共進クラブ、河頭町内会、新和技術コンサルタント株式会社



皆さんからの質問に応じる代表者

現地視察

主に国道3号沿いで活動をされている伊敷町通り会、草牟田通り会の代表者に普段の活動の様子を説明していただきながら、どのような工夫を行っているかなどお話ししていただきました。



きれいに手入れされた花壇を見学する皆さん

意見交換会

テーマ「こんな事ができたら良いな」
「こんな事にチャレンジしたい」

現地視察後に、3グループによる意見交換会をワークショップ形式で行いました。協会職員がファシリテーターを務め、皆さんからは日頃の活動に対する熱い思いや悩みなどの率直な意見を積極的に共有していただきました。



熱心に説明して下さる代表者

九州地方整備局、鹿児島県内の市役所、公益目的審議委員も参加し、計39名で行われた意見交換会では、皆さんの真摯な思いや熱意を持って活動に取り組んでおられる姿がとても印象的でした。

当協会では、今後も支援団体の皆さまとコミュニケーションを図り、皆さんが楽しく生き生きと活動し、多くの方々に喜んでいただけるようなサポートに努めたいと思います。



実施報告はこちら➡



様々な意見を出し合います



公益目的審議委員の皆さんも参加しました



意見交換会

令和7年度 九州風景街道活動交流発表会

目的

風景街道の地域の歴史・文化などを踏まえた世代間交流などのコミュニケーションの再生・促進によって課題解決を行い、地域資源の情報発信や、来訪者を楽しませる工夫等の地域活性化や観光振興へ寄与することにより、元気な地域づくりを目指しています。

多様な主体による協働のもと風景や自然、歴史、文化など地域ならではの資源を活かした活動の促進による持続可能な地域づくりへの取り組みを紹介するために開催しました。

日時: 令和8年2月9日(月) 13:30～

会場: TKPガーデンシティ博多新幹線口 プレミアムホール 参加者101名

発表会内容

1)基調講演 「地域の魅力を表現した観光と地域交流」 (一社)由布市まちづくり観光局 代表理事 桑野 和泉 氏

観光がもたらす「経済効果」と「オーバーツーリズムの課題」について、湯布院が消費型の観光地ではなく、もう一度保養の地となることを目指すためには、九州各地の風景街道ルートに人が訪れる「地域交流が大切」と述べられました。

2)エクスプラネーション 「風景街道と地域づくり」 九州工業大学大学院 工学研究院 教授 吉武 哲信 氏

議論を有意義なものとするため、吉武氏によるエクスプラネーション(解説)が行われました。わが国の人口動態と第3次国土形成計画の方向性から、日本風景街道の立ち位置が解説され、風景街道が大切にする地域づくりを解りやすく述べていただきました。

3)事例報告・パネルディスカッション 「風土を次世代につなぐ地域づくり」

●コーディネーター (公財)九州経済調査協会 常務理事兼調査研究部長 岡野 秀之 氏

●パネリスト

「地域ガイドと地域歴史文化伝承について」九州横断の道やまなみハイウェイ連絡協議会 事務局長 平野 芳弘 氏
「阿蘇の草原を持続的に維持しながら観光利用する牧野ガイド事業」道の駅阿蘇 駅長 下城 卓也 氏
「小さな自治と足元学で地域づくり」日南海岸きらめきライン 会長 日高 茂信 氏

①取り組みをはじめたきっかけ②取り組みが継続できているポイント③今後の発展に向けた課題とやりたいこと④風景街道の仲間へのメッセージを要点に議論が行われました。

各パネリストからは「地域活動を継続し発展させるためにはボランティア活動では限界があり、地域毎の特徴を活かした稼ぐ力が必要である」とご意見をいただきました。



桑野 氏



吉武 氏



岡野 氏



平野 氏



下城 氏



日高 氏

4)ポスターセッション

会場には風景街道16ルートそれぞれの特徴を活かしたブースを設置し、20分間の休憩を利用して、各担当者との情報交換や情報提供などの交流が行われました。



様々な工夫が凝らされたブース



熱心に聴講する参加者

令和7年度 九州の河川維持管理技術に関する講習会(南部)

目的 災害の激甚化や河川施設の老朽化が懸念されている中、着実な河川維持管理の必要性や河川が本来有している生物の生息環境等の保全・創出、治水・利水機能と環境を両立させる河川管理が重要となっています。

このため、河川管理に関わる技術者の技術力の向上を目的として開催しました。

日時: 令和7年12月18日(木) 13:00~17:05

会場: TKPガーデンシティ鹿児島中央 薩摩ホール 受講者41名

講演内容

「河川環境の評価と改善対策について」

公益財団法人リバーフロント研究所 自然環境グループ 主任研究員 白尾 豪宏 氏

「河川管理とDX(災害対応)」

国土研究開発法人 土木研究所 技術推進本部 主任研究員 房前 和朋 氏

「九州における河川の維持管理について」

国土交通省 九州地方整備局 河川部 河川情報管理官 工藤 勝次 氏



会場の様子



白尾 氏



房前 氏



工藤 氏



質疑応答

九州建設資料館運営事業

KMAプラザ講演会

当協会では、令和6年11月に協会本部と併せて移転した「KMAプラザ」^(※)利活用の向上を図るために講演会を開催し、当協会の関係者や九州地方整備局の方々にご参加いただいています。

(※) KMAは九州地域づくり協会の英文表記 Kyushu Management Associationの略です。

第2回 令和7年6月2日(月)

著書「餘澤千歳(よたくせんざい)ー筑後川 人と自然の物語(上巻)」の発刊を機に、当協会理事である玉川孝道氏を講師に迎え「餘澤千歳～筑後川戦記を中心に筑後川1500年の流れ」と題して講演していただきました。

「餘澤千歳」には、先人の知恵を讃え、筑後川の豊かな流れが永遠に続くことを願う意味が込められており、筑後川を軸とした流域内外の歴史にまつわるエピソードを語って下さいました。



玉川 氏



著書「餘澤千歳ー筑後川 人と自然の物語(上巻)」

第3回 令和7年11月6日(木)

当協会理事である荒牧軍治氏に「成富兵庫茂安から中村哲さんまで」をテーマに講演していただきました。

中国大陸から有明海、佐賀平野まで広範囲にわたり、9万年前まで遡り、筑後川と有明海の海岸線の変遷、干拓の歴史やそこに住む人々の生活様式を含め、石井樋をはじめとする成富兵庫茂安による治水、利水事業を中心に熱くお話しいただきました。



荒牧 氏の講演の様子

開館時間	9:00~16:00 (会議室内に併設のため、必ず事前にお電話でご確認下さい。)
休館日	土日祝日および年末年始 ※臨時休館等の変更あり
問合せ先	092-476-5680(企画部企画課)
所在地	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10-35 博多プライムイースト4F

土木技術に関する図書や資料の寄贈をお願いします

ご寄贈くださる場合には、あらかじめ左記問合せ先にお電話ください。

(送料は協会が負担します)

[KMAプラザについて]



2

建設事業の推進及び普及のための 調査研究事業

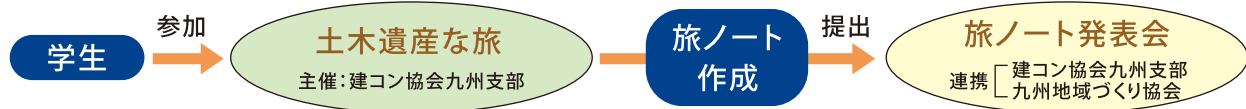
調査研究事業

①九州地域の社会資本整備の歴史

■土木遺産な旅・土木遺産な旅ノート発表会2025

土木遺産を巡り、地域の歴史をたどることで地域の価値を知り、未来へ継承する学びを紡いでいくことを推奨している「土木遺産な旅のススメ」(令和5年発刊)を参考に、(一社)建設コンサルタンツ協会と連携し「土木遺産な旅」バスツアーを実施しています。

九州内の大学生を対象に「土木遺産な旅のススメ」をテキストにした講義、九州の土木遺産を訪れ先人の豊かな知恵と土木構造物の奥深さを体感していただくフィールドワークによるバスツアーを行い、参加者の「旅ノート」作成による発表会を開催しています。



○土木遺産な旅

作成テーマ: ①先人が教えてくれたこと
②橋の面白さ

開催日: 講義/令和7年1月15日(水)
バスツアー/令和7年4月13日(日)

対象者: 長崎大学工学部社会環境デザイン
工学コース(3年生)など28名

訪問先: 西海橋、石井樋、昇開橋、
デ・レイケ導流堤、有明筑後川橋梁



講義の様子



西海橋展望台にて

○土木遺産な旅ノート発表会

開催日: 令和7年6月28日(土)



詳細はこちら→



発表会の様子



令和7年度受賞者の皆さん

■「土木遺産in九州」の選定

「土木遺産in九州」は、土木学会の選奨土木遺産を踏まえつつ、当協会における独自の視点に基づき選定し、平成19年にホームページに公表しました。公表から20年余りが経過し、含まれていない選奨土木遺産も存在しています。

そのため「土木遺産in九州」の追加選定のための、新たな選定の視点や基準の調査検討を行う「第1回土木遺産in九州レビュー委員会」を令和8年1月26日(月)に開催しました。

令和7年度の実施状況

- ・現行の選定基準・経緯等の整理及び他団体の制度に関する調査及び取りまとめ
- ・新たな土木遺産選定の視点・選定基準の検討



「土木遺産 in 九州」
はこちら→



「第1回土木遺産in九州レビュー委員会」の様子

■みちづくし in のべおか 2025 空も海も山も川も…道でつながり、すべてを「コエる」

道路の清掃や花植え等のボランティア活動を行う九州の道守団体の方々の意見交換や交流の場である「みちづくし」が令和7年10月23～24日に宮崎県延岡市で開催されました。

約500名の道守さんが参加し、1日目に現地体験学習会と交流集会、2日目に道守活動と交流会という新しい形で行われました。

今回も、現地の人が考える宮崎県北地域の魅力を伝える「旅の提案」として現地体験学習にあわせて「旅ノート冊子」を作成し3コースの旅を実践してもらいました。



作成した冊子

旅ノート冊子



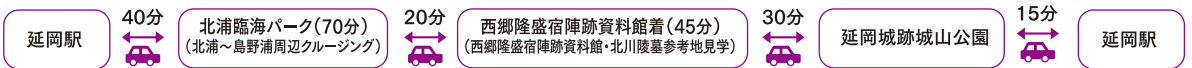
コースMAP



参加報告はこちら
 「交流ひろば」内

土木遺産を紹介

Aコース 延岡・歴史文化とクルージングコース

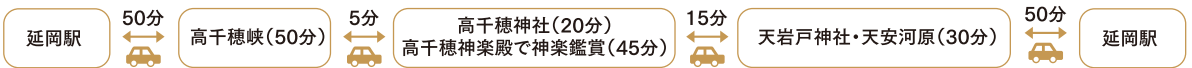


時化のためにクルージングは中止となりましたが、急遽、佐藤焼酎製造場を見学し、西郷隆盛宿陣跡資料館とニニギノミコト北川陵墓参考地ではガイドさんの説明により歴史を学びました。



集合写真

Bコース 高千穂・神話と伝説まちコース

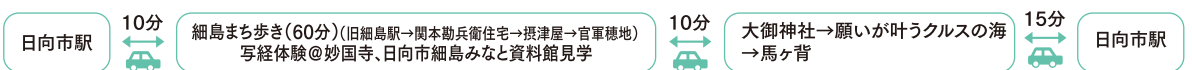


神話の里・高千穂ならではの神社巡りと神楽鑑賞、国の名勝・天然記念物「高千穂峡」では、日本の滝百選に指定され高千穂峡のシンボルでもある「真名井の滝」を満喫しました。



神楽

Cコース 日向・天領細島の旧街道と日向岬コース



国指定名勝庭園の「妙国寺庭園」を訪れ、その後は写経を体験し、馬ヶ背散策では素晴らしい眺望と自然を楽しみました。大御神社は「日向のお伊勢さま」と呼ばれています。



写経体験

②防災に関する調査研究

九州地方に発生した災害は、各地域に多大な被害をもたらし、それらの教訓は各地域において記録としてあるものの伝承されず、十分に活用されていない状況が見受けられます。

このため、当協会ホームページの「九州災害履歴情報データベース」を公開するとともに、災

害伝承にまつわる逸話や文化を取りまとめた伝承冊子を作成するなど、地域における防災意識の啓発・向上に向けた情報発信を行っています。



九州災害履歴情報データベース
(災害伝承冊子もこちらから) →



■地域防災力強化に向けた取り組みの検討

災害伝承については、当協会作成の災害記録誌や国・自治体で作成された子供向け防災教育資料(副読本)により行われています。

今回、地域防災力強化の観点から、過去に取材等を行った自治体を対象に、事例集の活用実態やその後の状況について調査を実施しました。また、子供たちに災害履歴を伝える観点から、防災に特化した資料を使用している自治体を対象に、作成状況や利用状況などの調査を実施しました。

【災害事例集を活かした調査】

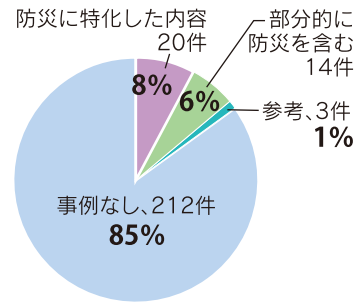
調査の結果、災害記録誌は作成時には自治体の対応状況や課題の記録に活用されたものの、その後の活用は不明でした。一方で、他自治体の協定締結先や災害対応の取り組み状況を把握したいとのニーズがあることが分かりました。

上記の結果を踏まえ、今後の方向性として、得られた知見を整理した事例集を作成し、展開することを考えています。

【子供向け防災教育資料(副読本)に関する調査】

調査結果から、防災教育資料の新規作成や学校教育現場での活用には一定のハードルがあることが分かりましたが、一方で、地域の災害の歴史や教訓を次世代へ伝える取り組みの必要性は依然として高いことが確認できました。

そのため、必ずしも新たな教材の作成に限定するのではなく、既存資料の活用(リンク集作成等)や地域活動との連携(地域の防災教育と連携した学習支援等)なども含め、子供や若い世代への災害伝承の方法について幅広く検討していく予定です。



■九州減災シンポジウム

近年、激甚化、頻発化する自然災害は、我々が想像する規模、頻度をはるかに超え、特に、南海トラフ地震は、前回の昭和東南海地震、昭和南海地震の発生から約80年が経過し、いつ発生してもおかしくない状況です。巨大地震への備えの重要性は高まるばかりであり、それを受け「南海トラフ地震に備える」をテーマにシンポジウムを開催しました。

日時: 令和7年11月20日(木) 13:30~17:00

会場: アクロス福岡 イベントホール

受講者約305名(会場参加約190名、Web参加115名)



詳細・実施報告は
こちら→



主催: 九州減災シンポジウム実行委員会

＜構成＞九州大学、九州地方整備局、福岡管区気象台、国土地理院九州地方測量部、NEXCO西日本(株)、九州電力(株)、福岡北九州高速道路公社、西部ガス(株)、九州旅客鉄道(株)、西日本電信電話(株)、(株)NTTドコモ、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、楽天モバイル(株)、(株)Q tnet、(一社)九州地域づくり協会[事務局]

シンポジウム内容 九州の自然災害リスクを知る・学ぶ～南海トラフ地震に備える～

1) 基調講演

「南海トラフ地震へどう備えるか～能登半島地震の教訓を活かす～」

香川大学 特任教授 金田 義行 氏

2) パネルディスカッション

「南海トラフ地震への備え」

コーディネーター

九州大学大学院 教授

三谷 泰浩 氏

パネリスト

香川大学 特任教授

金田 義行 氏

九州災害情報(報道)研究会幹事 [(株)福岡放送 報道部 副部長]

田中 俊憲 氏

宮崎県 小林土木事務所長

松田 豪紀 氏

気象庁 福岡管区気象台 総務部 業務課長

福山 由朗 氏

国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路情報管理官

石橋 賢一 氏



三谷 氏



金田 氏



田中 氏



松田 氏



福山 氏



石橋 氏

①大学等への研究助成事業

国際化、情報化等の進展に伴い、国民のニーズの多様化、地球規模で変化する気候変動の中、持続可能な未来を築く開発目標(SDGs)に適合した国土管理及び円滑な社会資本整備の進め方などに寄与するため、土木技術全般に関わるハード及びソフト両面についての調査研究が求められています。

このため、若手研究者の育成も兼ねて、九州地区の大学・工業高等専門学校に対して募集し、それに要する費用を助成しています。

なお、特定テーマとは①地域の活性化・再生、

②インフラ維持管理の効率化、③九州地域等における防災・減災及び復旧・復興対策であり、それ以外を一般としています。



令和7年度(第2回)研究等助成審議委員会

成果報告書(概要版)はこちら→



令和7年度 調査研究助成の実施一覧

番号	大学・高専名	研究課題名	研究テーマ	実施期間
1	九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系	リベットを有する高齢橋の保守軽減、長寿命化に向けた研究	特定 ②	R7.4.1~ R8.3.31
2	九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門	鋼構造物の重度腐食したすき間・狭あい部を蘇生化する素地調整方法の確立	特定 ②	〃
3	九州大学大学院 工学府 土木工学専攻	鋼構造物を短命化する塗膜皮下腐食の解明と最適な塗膜仕様の選定手法の確立	特定 ②	〃
4	九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門	降雨流出モデルと氾濫モデルのオンライン結合モデルの開発と水災害頻度・規模の将来予測	特定 ③	〃
5	西日本工業大学 工学部 総合システム工学科	海底ブロックの形成条件と構造が力学的特性に及ぼす影響評価	一般	R7.4.10~ R8.3.31
6	福岡大学 工学部 社会デザイン工学科	高炉スラグ微粉末を高置換したプレキャストコンクリートの諸特性に及ぼす影響因子の評価	一般	R7.4.1~ R8.3.31
7	福岡大学 工学部 社会デザイン工学科	季節変動に伴う植生繁茂状況の変化を考慮した可視光画像解析による法面の維持管理手法の検討	特定 ③	〃
8	長崎大学大学院 総合生産科学研究科	機械学習を用いた自動診断支援システムの構築および効率的な橋梁維持管理手法の提案	特定 ②	〃
9	熊本大学大学院 先端科学研究部 土木建築学専攻	天草市の世界遺産と共生する持続可能な地域づくり支援	特定 ①	R7.4.15~ R8.3.31
10	熊本大学大学院 自然科学教育部 工学専攻	繰り返し荷重に伴う火山灰質土の局所破壊機構の解明に関する研究	特定 ③	R7.4.20~ R8.3.31
11	宮崎大学 工学部 土木環境工学プログラム	超音波スピーカーを用いたモルタル吹付斜面の非破壊空洞探査手法の開発	特定 ②	R7.4.1~ R8.3.31
12	宮崎大学 工学教育部	複合リサイクル材料による重金属等微量元素の固定化に関する研究	一般	〃
13	鹿児島大学学術研究院 理工学域工学系 海洋土木工学専攻	気候変動に伴う最大クラス台風による南九州沿岸域での流木群の漂流過程の検討	特定 ③	〃
14	鹿児島工業高等専門学校 都市環境デザイン工学科	高炉スラグを主体とする環境配慮型の地盤改良技術の開発	一般	〃

令和6年度 研究等助成事業成果報告会[令和7年9月2日(火)]

平成15年度より研究助成事業を開始し、今回12回目の開催となった研究助成の成果発表会は、14名の方に成果報告していただきました。



研究等助成審議委員長
日野 伸一 氏



報告会の様子

②人材育成に関する助成事業

国際化、情報化等の進展に伴い、国民のニーズの多様化、地球規模で変化する気候変動の中、持続可能な未来を築く開発目標(SDGs)に適合した国土管理、円滑な社会資本の整備及び利活用を進めることが重要となっています。

このため、河川、道路、環境、防災、構造物維持管理、景観デザイン等をテーマとして、九州地区の大学、工業高等専門学校、団体等を対象とした実践的な人材育成や教育の取り組みを募集しており、以下に助成を行いました。

令和7年度 人材育成決定者一覧表

番号	大学・団体名	研究課題名	実施期間
1	九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門	高速道路を題材とした次世代土木技術者のための道路舗装実践教育	R7.4.11～R7.12.26
2	長崎大学大学院 工学研究科 インフラ総合研究センター	維持管理担当の自治体職員を対象とした道守補助員コースの開催	R7.5.1～R8.3.31
3	宮崎大学 工学教育研究部	コンクリート構造物の新設・維持管理における県外の素晴らしい斬新な技術・経験を県内への紹介および展開	R7.4.1～R8.3.31
4	第一工科大学 工学部 環境エンジニアリング学科	土木科高校生の課題研究における伝統的治水技術・霞堤に関する実践的学習	//
5	(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部	土木遺産な旅2025・旅ノート取りまとめ	//

令和7年度 人材育成助成の実施状況

九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 高速道路を題材とした次世代土木技術者のための道路舗装実践教育

将来の道路インフラを効率的に建設・管理していく土木技術者を育成することを目的に、九州大学、熊本大学、鹿児島大学の大学院生を対象として、「舗装」をテーマとしたアスファルト配合設計実習およびプラント見学、トンネルインバート工事見学などを行いました。

また、高速道路の魅力を高めるための具体的な施策について、学生が約4ヶ月の調査・検討を行い、発表会を実施しました。最優秀賞には、AR(拡張現実)アプリの提案と自動運転との融合についてプレゼンした班が選ばれました。



トンネル現場見学状況



アスファルト合材製造プラント見学状況

長崎大学大学院 工学研究科 インフラ総合研究センター 維持管理担当の自治体職員を対象とした道守補助員コースの開催

長崎県内自治体の維持管理担当の若手職員(35歳以下)を対象に、技術者向けの道守補助員コースを11月20日に開催しました。長崎県と市町の職員24人が受講し、座学で長崎県及び長崎大学の専門家が県の道路の現状、橋梁・トンネル・道路斜面等の劣化による変状と着目を説明しました。次いで、経験豊富な道守認定者がコンクリート橋及び道路斜面の現場点検実習を実施しました。その後、大学に戻って認定試験を実施しました。



座学の様子



コンクリート橋の点検実習

宮崎大学 工学教育研究部 土木環境工学プログラム

コンクリート構造物の新設・維持管理における県外の素晴らしい斬新な技術・経験を県内への紹介および展開

10月24日、宮崎大学で「新設コンクリート構造物のひび割れ対策による品質向上に関する講習会」を開催した。講師は、都城工業専門学校 田村校長、八戸工大阿波教授、日大岩城教授ら3人で、新設構造物のひび割れ・品質・耐久性をキーワードとして、各1時間ずつ素晴らしい講演を行い、聴講者と質疑応答も行った。参加者は県内の行政、民間企業など関係者のほか、鹿児島、福岡、東京からも参加者がいた。学外の参加者が45名、学内学生が20名程度で、合計65名程度の参加者で、大変盛り上がった。



都城工業高等専門学校
田村隆弘校長



日本大学
岩城一郎教授

第一工科大学 工学部 環境エンジニアリング学科 土木科高校生の課題研究における伝統的治水技術・霞堤に関する実践的学習

この取り組みは、延岡工業高校土木科の3年生8名を対象に、北川町家田地区の霞堤について実践的に学ぶことを目的としており、今年で3年目となります。今年度は、例年実施している現場見学及び模型実験に加え、延岡市北川総合支所の方に地域管理上の課題等を解説いただきました。現地には過去の浸水履歴が記録された水位標柱が設置されていますが、今回は、昨年発生した洪水の水位を高校生の手で新たに追加する計画です。



模型実験



現場見学

(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部 土木遺産な旅2025・旅ノート取りまとめ

長崎大学にて土木を学ぶ学生が、土木専門家と一緒に土木遺産を訪問し、土木の社会的意義や魅力、土木技術者としてのやりがいを感じていただき、土木業界への就職を後押しするものです。今回の見学先は次の4か所。西海橋はわが国最初の長大橋、石井樋は日本最古の取水施設、昇開橋は旧国鉄の昇降式可動橋、テレーケ導流堤は土砂堆積しない仕組みにより航路確保したものです。旅ノートを作成し、報告会を開催しました。



西海橋



石井樋

3

地域活性化等 支援事業

河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業

河川や道路を舞台とした愛護・啓発等の活動とともに地域イベント等を開催し、地域活性化を図る

NPO等の団体活動を支援しています。
令和7年度は、10団体を支援しました。

支援事業の一部を紹介

片ノ瀬あゆまつり

NPO法人 筑後川流域連携倶楽部

事業の内容

- 片ノ瀬川祭事業の開催
 - 環境保全
 - 河川清掃活動
 - 流域治水に関するパネル展

事業の効果

- 地域住民からは、日頃憩いの場として利用している公園が年に1度賑やかになる光景はとて有難いと、事業継続を希望する声が多く寄せられました。



花緑柳河原川クリーン作戦

花緑自治公民館

事業の内容

- 年2回のクリーン作戦
(草刈り、草集め、花壇の花植え)
- 年5回の草刈り作業

事業の効果

- 子どもから高齢者まで多くの住民が参加し、川のごみ拾い、清掃、花植えなどの河川環境美化活動を共に行い、きれいになった柳河原川を地域住民にも見ていただき、河川愛護の啓発につながっています。



ZOOM

UP

地域の未来を担う子どもたちと、梅の植樹を継続

「地名は梅林なのに、梅の木がどこにもない」という声をきっかけに始まった植樹活動であり、これまでに植えた梅は120本を超えています。2016年から地域の人々や子どもたちがともに梅を植え、さまざまな企業・団体の協力をいただきながら活動の輪が次第に広がってきました。外環状線沿いの国有地にしだれ梅8本、引き続き30本のしだれ梅を植えた「梅の広場」は、今では地域のシンボルとなり毎年春に開かれる梅見会では、小・中学生が詠んだ短歌・俳句など来場者の作品が展示発表されるとともに、ぜんざいがふるまわれるなど人々の交流の場としてすっかり定着しています。

令和7年には福岡県植樹祭実行委員長賞を受賞。協会からの助成は剪定器具の購入費用に活用しています。



梅香町梅林推進プロジェクト
小柳 未那 代表



環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業

水辺を遊びの場、自然体験の場、自然環境調査の場とするイベントを開き、川遊び、自然観察、環境(生物、水質)調査等の学習を通じて河川環境保全の重要性を啓発する活動を支援しています。

また、河川をフィールドとして活動する人材を育成

しているNPO等やボランティア団体と地域住民が連携する活動についても支援しています。

令和7年度は、川を体験する諸活動や環境保全活動等の9団体を支援しました。

支援事業の一部を紹介

リバーチャレンジスクール

直方川づくり交流会

事業の内容

- 遠賀川から花のプレゼント
- サマースクール
- バードウォッチング
- 輪飾りづくり
- 凧上げ
- チューリップを描こう

事業の効果

- リバーチャレンジスクールの体験を通して描かれた河川愛護月間絵手紙が国土交通事務次官賞を受賞しました。
- 子ども達の活動は、数多くの新聞やTV、マスコミに取り上げられ、多くの方々にも活動を知ってもらえました。



ふるさとの水辺を生かす体験学習と人材育成

自然と暮らしを考える研究会

事業の内容

- 体験型の学習支援と出前講座
- 夏休み川の安全体験教室
- 防災出前教室
- 川辺の環境整備
- 人材育成(交流・会議、ワークショップなど)

事業の効果

- 近年の異常気象(気候変動)のせいか、河川環境の悪化を事業活動することにより実感できました。
- 災害時における地下水の活用が可能か、実証実験(水質分析)を毎年試みており、環境美化活動の啓発につながっています。



アザメの瀬関連事業

特定非営利活動法人 アザメの会

事業の内容

- 田んぼの楽校(学習会・田植え・稲刈り)
- 防災教室
- アザメの瀬体験
- 夏休み自然環境教室
- 田んぼで魚獲り
- 収穫祭(餅つき)
- こども食堂へ米贈呈

事業の効果

- 田んぼの楽校などを実施することで、児童や保護者区民に対し、環境問題の意識を高めることができました。



環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業

特定非営利活動法人 天明水の会

事業の内容

- 緑川ダム見学学習会
- 森づくり活動及び植林体験学習
- 竹炭焼き一連の活動

事業の効果

- 緑川ダム最下流域の中学生を連れて、流域治水について学習できたことは大変有効でした。
- 植林活動は植えた後の森づくりが、長い年月を要し大変なことを理解しました。
- 竹炭焼き作業が放置竹林問題解決のひとつになることを学び、また、竹炭の特性を学ぶことで様々な活用が可能なことを理解しました。



自然体験学習支援事業

山崎川をきれいにする会

事業の内容

- 自然体験学習
- 総合学習の時間に「川の話」実施
- 川の生き物・水質調査
- 子ども達による種蒔き
- 草刈り作業

事業の効果

- 子ども達には、自然環境を大切にすることを育み、川や海をきれいにすることの大切さに気づいてくれることが期待できます。
- 学校の野外学習や親子の観察する様子に地域住民も自然環境保全を理解し、協力の輪が広がることが期待されます。



ZOOM UP



道守九州会議
塚原 健一 代表

九州各地から約500名が集結し、道守活動をアピール

九州全域で道路愛護の活動を行っている道守九州会議では、この活動を次世代に繋げてゆくために若者たちへの活動の拡大に努めています。令和7年10月23・24日に開催した「みちづくしinのべおか2025」では、若者主体の交流活動の対象者20名を含む約500名が九州各地から集まり、道守活動の報告や意見交換が行われました。

参加した若者たちからは、他県からの参加者や年代・性別の異なる参加者との交流が刺激になったなどの感想があり、九州全域の道守活動への理解を深める場を提供できたと考えています。また自分たちの活動が多くの方々から評価されていることで若者たちのモチベーションも向上したようです。協会の助成金は若者たちの旅費の一部として活用しました。



河川・道路等の愛護活動支援事業

河川や道路等を慈しみ、住民参加型の維持管理（清掃・美化）を積極的に行い、道路利用者等へのマナー向上や道路愛護思想の啓発普及に努めている沿道住民、NPO、企業等団体のボランティア活

動（歩道清掃、花壇の維持管理）を支援することにより、地域コミュニティの活性化に寄与しています。

令和7年度は78団体を支援しました。

支援事業の一部を紹介

道路等の愛護活動支援事業

けやき通り発展期成会

事業の内容

- 歩道の美化清掃 ●けやきのライトアップ
- プランターへの花植・水遣り
- 小学校での環境保全整備に関する啓発授業
- 中学校との環境保全整備活動

事業の効果

- 清掃の継続でごみの少ない歩道が保たれ、花植、水遣りで街並みに潤いを与えることができました。
- 環境を考える授業を通して、子ども達に活動の意義を伝え、次の世代への啓発を行うことができました。



門司港地域における環境美化、整備、維持管理活動

NPO法人 門司港レトロ花の会

事業の内容

- 清掃活動
- 花壇の草取り、花苗の植付け、水遣り

事業の効果

- 花壇整備や路側帯清掃で地域環境が整い、ごみのポイ捨てが少なくなっています。
- 地域住民や道路利用者から感謝の声をいただいています。



今宿チューリップまつり

農楽苦会

事業の内容

- 年間を通して、雑草抑制・花壇の維持（草刈り・畝立て・植付け・撤収、土壌改良）

事業の効果

- 近隣住民や通行する人に、環境美化を身近に感じてもらうことができます。
- 当会の会員だけでなく、児童やその保護者と一緒に活動することができ、児童のみでも事業の開始から1100名を越え、活動者の広がりが生まれています。



道路清掃及び美化活動を目的とした地域女性活動の活性化事業

江北町女性ネットワーク

事業の内容

- 道路清掃及び美化活動
(植栽帯への花苗植え、除草、水遣り、肥料散布など)

事業の効果

- 地域住民や道路利用者から美しくほっとする、心が和み癒される、などの声をいただいています。
- 道路愛護、美化啓発、地域環境づくりに貢献できています。



ボランティア・サポート・プログラム

八嘉校区まちづくり委員会

事業の内容

- 花壇の花の管理、除草及び周辺の清掃

事業の効果

- ドライバーの人達から「心が和む道路だ」と嬉しい意見が寄せられています。
- 小学校の子ども達が、花いっぱい運動に参加し協働することで、地域との一体感がより一層図れました。



豊かな大分を目指そう大作戦(一般国道10号や大分川でのボランティア活動等を統合した名称としたもの)

豊友会

事業の内容

- 河川や道路の清掃活動
- 管理施設の点検
- 講演会の実施

事業の効果

- 国交省事務所だけでなく建設業界、JRなどの民間企業や学校関係とも連携が図られ、河川や道路の愛護啓発につながっています。



ボランティア・サポート・プログラム事業

小吹毛井区福祉推進会

事業の内容

- 歩道の清掃活動及び花苗の植樹、手入れなどによる美化緑化活動

事業の効果

- 地域住民や国道を利用するドライバーに大変好評を得ています。
- 道路の清掃や植栽活動を通じ、会員の親睦や連携が強まり、また年長者の技術を若い区民が学ぶ場にもなっています。



花いっぱい運動及び清掃活動

津留地区ふるさとづくり運動推進協議会

事業の内容

- 花壇や公園などに花を植栽
- 河川敷及び裏川周辺の清掃活動

事業の効果

- 「花いっぱい運動」は、四季を通して地域の住民や通行人の目を楽しませ、美化意識の向上に貢献しています。
- 河川清掃活動は、子どもから高齢者まで参加を呼びかけることで、住民同士の交流を図り絆を深め、子ども達の健全育成の役割も果たしています。



ZOOM
UP

バス停を花で彩る活動を20年継続し、国交大臣賞受賞

国道202号沿いの日南海岸は、サイクリングロードとしても人気の高い観光コースです。私は妻と、妻の弟夫妻と一緒に日南市にあるバス停「富士」周辺の歩道の清掃、美化活動に取り組んでいます。

私は小・中学校も高校も、このバス停から通いましたから、恩返しのような気持ちもあります。2005年に宮崎河川国道事務所と「ボランティア・サポート・プログラム協定」を締結して以来20年間、バス停周辺に鉢植えやプランターを配置するなど、素人ながら四季折々の花を飾り続けてきました。令和7年度には、長年の活動を認めていただき、国土交通大臣賞を受賞しました。協会からの支援金は花苗などの購入に活用させていただいています。



バス停に花を飾る会
長友 睦郎 代表



地域資源の活用による地域活性化活動支援事業

身近な公共空間である「道」を舞台に、地域資源（景観、自然、歴史、文化、考古、食・産物、祭り等）を最大限活用し、住む人・訪れる人にとって魅力的な九州を実現することを目的に、「九州風景街道」の取

り組みを管内16ルートで展開しています。

これらの活動を進める多様な主体（地域住民、NPO、町内会・自治会等）の諸活動を支援しています。令和7年度は11団体の活動を支援しました。

支援事業の一部を紹介

日本風景街道「ながさきサンセットロード」推進事業

ながさきサンセットロード振興会

事業の内容

- 県下一斉清掃
- 女神大橋・新西海橋開通20周年記念フォトコンテスト
- 自動車道（旧島原鉄道廢線跡地）の清掃 & 除草

事業の効果

- 女神大橋・新西海橋開通20周年記念事業として、フォトコンテストと記念クラシックカーラリーを計画。カーラリーは都合により見送りとなりましたが、開催のために多方面にPRを行っており、知名度向上にはつながりました。
- 一斉清掃は参加者人数が年々減ってきていますが、ごみの量も極端に少なくなっており、「ゴミ0作戦」が市民にも浸透してきているようです。



日本風景街道おおいた海への道の推進

日本風景街道おおいた海への道推進協議会

事業の内容

- 世間遺産学会の開催（津久見市）
- 海岸清掃（各市町）
- 観光物産展「別府おんせん&まちまち博」の開催（別府市）
- PR用パンフレットの作成と配布

事業の効果

- 世間遺産学会では、地域の魅力を発見することにつながり、海岸清掃はごみを捨てないという教育につながっています。
- 「まちまち博」では、各市町のイチオシを観光客にアピールできたほか、パートナーシップの増加にもつながっています。



日本風景街道「九州横断の道やまなみハイウェイ協議会」

九州横断の道やまなみハイウェイ協議会

事業の内容

- 野焼き事業 ● やまなみハイウェイシンポジウム開催 ● やまなみハイウェイマップ配布 ● 日本観光の祖油屋熊八PR活動 ● SNS更新・キッズミュージカル後援 ● テレビ・新聞等でやまなみハイウェイPR

事業の効果

- 野焼き事業を継続して行うことにより、阿蘇くじゅう国立公園の自然景観の保全ができました。
- シンポジウムでは、多くの活動団体や企業市民の活動について共通認識を持つことができました。
- キッズミュージカルではやまなみハイウェイの魅力を紹介することができました。



令和7年度 日豊海岸 浦ノ民話ツーリズム活用推進事業

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

事業の内容

- なぎさの公園駐車場に地上平面型の「案内看板(マップ)」を設置しました。マップには「海ノ民話のまちプロジェクト」制作のアニメに登場する「バクチの木」にまつわるシーンや二次元コードを読み込めば動画が見れ、浦々の地域を楽しめる工夫を施しました。

事業の効果

- 浦の細道には、豊富な観光資源が眠っており、その一部のスピリチュアルな素材をアニメという形で情報発信しました。浦の奥まで人流を創り、浦々の活性化につながると期待されます。



自転車旅のおすすめ事業

日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会

事業の内容

- 日南海岸きらめきラインが2029年国スポのレジェンドコースになる可能性を高めるため、スポーツ愛好者だけでなく、一般の人でも楽しむことができるのか、2種類のEバイク(ミニベロ・クロス)を使って検証。

事業の効果

- 中距離以上のサイクリングには、補給可能な休憩所・売店などをトイレと併せて案内することが必要と分かりました。
- 自転車向けの注意看板・路面表示など、必要な箇所があることも把握することができました。



ZOOM UP

街歩きやバスツアーで、地域に点在する魅力を再発見!

道路沿いの景観やその保全に関わる活動を推進する「風景街道」ですが、私たちはその知名度の向上をめざし年3回程度、景観や自然、歴史や文化などの地域資源を体験・紹介する活動に取り組んでいます。昨年5月には「昭和が残る風景」をテーマに南薩方面をバスで訪れ、9月には鹿児島市内の国道58号沿いを街歩きでめぐり、今年1月には指宿の火山地形に触れるバスツアーを実施、地域に点在する魅力を再発見することができました。

今後は各地で「風景街道」の活動に取り組む人々との連携を図り、ノウハウを共有する機会を増やしていくと考えています。協会からの支援事業費はバスの借上代などに有効に活用しています。



かごしま風景街道推進協議会
福島 大輔 代表



4

防災活動等 支援事業

災害被災地への復旧支援事業

■災害被災自治体への復旧支援

「令和7年8月6日からの大雨」による被害の大きかった自治体に対し、公益事業活動として10月15日に熊本県甲佐町・美里町、22日に熊本県八代市、

24日に熊本県上天草市、翌月11月13日には鹿児島県始良市へ寄附目録の贈呈を行い、被災自治体の速やかな復旧・復興を支援しました。



甲佐町副町長へ目録贈呈 (R7.10.15)



美里町副町長へ目録贈呈 (R7.10.15)



八代市副市長へ目録贈呈 (R7.10.22)



上天草市副市長へ目録贈呈 (R7.10.24)



始良市副市長へ目録贈呈 (R7.11.13)



自治体から頂いた
感謝状

■災害復旧技術講習会(協会主催)

概要

近年、全国各地において激甚な自然災害が頻発しており、被災市町村における災害復旧事業については、災害査定などの普段体験しない迅速な対応と膨大な実務が求められています。

こうした状況の中、当協会では、平成29年九州北部豪雨災害により被災した福岡県の朝倉市や東峰村に対して、災害復旧技術専門家と連携を取り

ながら、災害復旧の支援活動を行ってきました。

これらを踏まえ、令和4年度より、災害対応能力の向上に資することを目的として、九州内の市町村職員や災害復旧事業に携わる技術者の方々を対象に、年度内に2回、災害復旧事業を基礎から学ぶ講習会を設けています。特に今回から、災害現場に"DX"を取り入れた活動事例の紹介とその普及を呼びかけました。

内容

第7回:令和7年6月18日(水)

10:00~16:30 受講者263名

- ①「災害復旧事業制度について」
- ②「近年を中心とした改正点について」
- ③「災害復旧事業の留意点について」
- ④「TEC-FORCEの活動について」



(第7回)実施報告はこちら→



災害復旧技術専門家 後藤 信孝 氏

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 災害査定官 一戸 佳充 氏

国土交通省 九州地方整備局 災害対策マネジメント室 室長 松木 厚廣 氏

⑤「DXで災害対応の未来を切り拓く」 国土交通省 九州地方整備局 企画部 インフラDX推進室 建設専門官 酒匂 俊輔 氏

⑥「被災市町村への支援事例について」 (一社)九州地域づくり協会 技術部 部長 久留 省二



後藤 氏



一戸 氏



松木 氏



酒匂 氏



久留 技術部長

第8回:令和8年1月29日(木)

13:00~16:40 受講者160名



(第8回)実施報告はこちら→



①「令和7年最新情報及びよくある事例(失格・欠格事例)等について」

②「応急仮工事・応急本工事について」 ③「改良復旧事業について」 災害復旧技術専門家 後藤 信孝 氏

④「今年度のTEC-FORCE活動(災害対応)と取得データの活用」

国土交通省 九州地方整備局 災害対策マネジメント室 課長補佐 矢羽田 成巧 氏

⑤「長崎県版スマート化査定について」

長崎県 土木部 河川課 河川防災班 主任 近藤 慎吾 氏

⑥「令和7年災害等への支援」

(一社)九州地域づくり協会 企画課長 秀徳 典穂



後藤 氏



矢羽田 氏



近藤 氏



秀徳 企画課長



講習会の様子

防災ボランティア活動等支援事業

被災地で災害ボランティア活動を行う団体への支援

「令和7年8月6日からの大雨」に伴う災害に対して、福岡県、熊本県、鹿児島県の被災地においてボランティア活動を行う以下の10団体に支援を行いました。

団体名/所在地/活動概要	活動地区/期間	活動の様子	団体名/所在地/活動概要	活動地区/期間	活動の様子
NPO法人 熊本住宅支援センター 熊本県熊本市東区 解体工事や家財搬出作業	熊本市、八代市 2025.10.10~ 10.19		災害ボランティア支援隊 決断 福岡県飯塚市 床下での土砂出し・洗浄・乾燥・消毒	福津市・玉名市 2025.8.16~ 12.19	
災害支援チームK. T. S 熊本県熊本市北区 重機を使用した土砂の除去、チェーンソーを使用した流倒木の除去作業、ロープワークを駆使した特殊伐採工法による危険木の除去活動	宇城市、八代市、甲佐町、美里町 2025.8.12~ 10.12		防災グ 福岡県朝倉市 県、県社協、被災地域の市町村・社協を訪問及び実態調査による被害調査、各種会議の支援調整、社協と連携した被害調査の実施被災家屋保全および復旧活動、社協のVC運営サポート	福岡県、玉名市 2025.8.12~ 11.30	
ヒラタ災害支援チーム 熊本県熊本市北区 家財搬出、土砂出し、床下洗浄消毒の対応	玉名市、天草市、上天草市 2025.8.13~ 12.19		インフィニティONE 福岡県柳川市 床下土砂出し、倒木撤去、重機オペ、危険箇所の土砂出し、ブロック塀や鉄筋コンクリートの破碎と運び出しなど	福岡県、熊本県、鹿児島県 2025.8.6~ 12.19	
NPO法人ひのくにスマイルプロジェクト 熊本県菊池市 ドリンク類や菓子パン等の運搬作業	熊本県 2025.8.6~ 12.1		くるめ災害支援ネット「ハッシュ#」 福岡県久留米市 各被災市町村社協と連携した「被災家屋調査」を中心に行い、必要に応じて被災家屋の復旧活動	行橋市、直方市、古賀市、福津市、新宮町、苅田町 2025.8.12~ 9.30	
支援の「わ」 熊本県人吉市 家屋片付・家財救出・家屋再生活動、地域拠点を復旧させる活動、受援者から支援者へ「支援の「環」」を作る活動、災害に強い地域を作るために「互近助」活動のできる地元支援者をサポートする活動ほか	熊本県八代市龍峯校区 2025.8.12~ 12.31		SSJ佐賀 佐賀県佐賀市 床下等の土砂出し	福津市・宗像市・熊本市・八代市 2025.8.7~ 11.30	

防災・減災活動を行う団体への支援

市民団体等が行う防災・減災活動を支援しています。令和7年度は、以下の3団体を支援しました。

斜面崩壊と雨の降り方の関係に関するシンポジウム 北九州2025

～豪雨災害の特徴から避難までを考える～

斜面崩壊と雨の降り方との関係と警戒避難システムの実用化に関する調査研究委員会

事業の内容

- シンポジウム開催

事業の効果

- シンポジウムの成果と開催が、多くの参加者にとって有意義であったとのコメントをいただいております。少なからず、斜面災害の防止、軽減や啓発に役立ったと考えられます。



沈黙の語り部たちから災害歴史を学ぶ

災害歴史を学ぶ会

事業の内容

- 冊子「沈黙の語り部たち」の配布
- 冊子普及を目的としたバスツアーやパネル展開催

事業の効果

- 活動の内容や冊子についてマスコミに複数回取り上げられ、その反響も大きなものがありました。
- バスツアーに国土地理院の参加も得て、地理院が取り組んでいる災害歴史記念碑の地図に佐賀県内の掲載数が増えてきています。



まちなか防災2025

NPO法人白川流域リバーネットワーク

事業の内容

- 白川で起きた過去の水害の写真展
- 白川の特性と防災・減災に向けたパネル展
- 熊本大学デジタルアーカイブ室パネル展
- 「流域治水への取り組み」としての啓発映像、土石流模型や3D空間ディスプレイの展示など

事業の効果

- 熊本市中心街の下通アーケードに展示することで、多くの来訪者が足を止め、水害から「命」や「まち」を守るための備えと行動につながる自助力、共助力の向上になったと思います。



九州防災エキスパート会支援事業

九州防災エキスパート会は、平成8年3月25日発足の九州地方整備局OBで組織する災害支援のボランティア団体です。これまで培ってきた防災の知識・技術を生かして、災害時には現場に出動し復旧工法の指導などを行うとともに、平常時には各事

務所が実施している出水期前の点検・訓練・水防活動の指導などの他、技術伝承等のサポート活動も実施しています。令和7年度、新会員25名が加わり、令和7年度末の会員数は462名です。

1. 平常時の活動

1) 本部の対応

①R7.11.21:津波防災訓練

津波発生を想定した整備局本部のTEC-FORCE総合司令部と現地との訓練に、当会本部より3名が参加しました。

②R7.8.4:整備局(道路部)と本部(道路支援班)の意見交換会

道路情報管理官他3名と道路支援班長他3名により、当会道路関係活動について意見交換を行いました。



①津波防災訓練実施状況



②意見交換会状況

2) 河川合同巡視(河川系事務所)

出水期前、各出張所毎の危険箇所や重要水防箇所等を气象台、県土木事務所、市町水防団等と合同で確認しました。

R7実施:筑後川、遠賀川、武雄、熊本、宮崎、川内川



筑後川(吉井[出])実施状況



宮崎(都城[出])実施状況

3) 緊急対策シミュレーション(河川系事務所)

堤防決壊時の緊急対策シミュレーションでは、洪水や地震を対象に、氾濫域等の情報確認の他、復旧工法、備蓄資材や主要機材の搬入路、地元対応等を確認しました。

R7実施:筑後川、遠賀川、大分、佐伯、山国川、川内川、大隅



大分(大分川)実施状況



大隅(肝属川)実施状況

4) 川内川総合水防演習

九州各県廻りの総合水防演習が川内川で実施され、当会川内川支部より10名が参加し、消防団等へ改良積土のう工、月の輪工等の指導を行いました。また、大分支所では、佐伯・山国川にも呼びかけ、職員向けの水防工法講習会を実施しました。



水防演習実施状況



参加した当会員

5) 道路法面等の点検(道路系事務所)

出水期前、防災点検として、国道法面の洗掘箇所、法面不安定や排水不良箇所等の確認を行いました。

R7実施:北九州国道、佐賀国道、熊本、大分、鹿児島国道



北九州国道(八幡維持)実施状況



熊本(山鹿維持)実施状況

2. 災害時の活動

R7.8.7からの大雨により、国道10号と220号の路肩決壊等が発生したため、鹿児島国道支部4名が出動して被災調査等を行いました。



3. サポート活動(技術伝承等の活動)

1) 筑後川ダム統管

杖立地区まちづくり整備の現地調査に当会6名が参加しました。



2) 川内川

シラス堤防の維持管理勉強会へ当会5名が参加しました。



令和7年度 九州地域づくり協会 支援団体一覧表【137団体】

広報活動支援事業

26団体

特定非営利活動法人 はかた夢松原の会
多様な道路空間の利用～緑を活用した安全・安心の国体道路～

道守大川ネットワーク
道守活動

道守柳川ネットワーク
道守清掃事業

第24回九州「川」のワークショップin遠賀川実行委員会
第24回九州「川」のワークショップin遠賀川 **ZOOM UP P6**

特定非営利活動法人 遠賀川流域住民の会
I LOVE 遠賀川 **P6**

道守佐賀会議
道守体験事業・道守交流会 **P6**

特定非営利活動法人 道守長崎
道守支援事業 **P7**

デミー博士
認知度向上!土木の日2025SNSアクション～土木を憧れの職業No.1へ～

土木の日実行委員会
土木の日熊本行事

おおいた建設人材共育ネットワーク
土木の日大分行事 **P7**

“語ろうみんなで!三つの輪”実行委員会
語ろうみんなで!三つの輪シンポジウム(道の駅・日本風景街道・道守)

一般社団法人 国東社中
日本風景街道大学in国東開催

みちづくしin延岡2025 実行委員会
みちづくしin延岡2025

道守みやざき会議
令和7年度 宮崎県内道守活動支援事業

宮崎県「土木の日」実行委員会
宮崎県「土木の日」 **P7**

宮崎「橋の日」実行委員会
第39回 宮崎「橋の日」イベント

日南「橋の日」実行委員会
第13回 日南「橋の日」パネル展

日本風景街道大学実行委員会
第16回 日本風景街道大学

特定非営利活動法人 コノハナロード延岡市民応援隊
コノハナロードかわまち広報事業

道守かごしま会議
道守かごしま会議座談会・研修会等(道守かごしま会議)事業

九州建設技術フォーラム実行委員会
九州建設技術フォーラム2025

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム
インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム

海の中道「フラワーピクニック」実行委員会
海の中道フラワーピクニック2025

(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
令和7年度「地域の夢・アイデア発掘・活用事業」

(一社)九州橋梁・構造工学研究会(KABSE)
KABSE学生研修会

(一社)日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)
下関北九州道路シンポジウム～早期実現に向けて～

地域活性化等支援事業

河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業 **[10団体]**

梅香る町梅林推進プロジェクト
町の美化を目的とした梅の木やその他花々の植栽とメンテナンス **ZOOM UP P17**

道守おおむたネットワーク
国道208号道路愛護・地域活性化活動

NPO法人 筑後川流域連携倶楽部
片ノ瀬あゆまつり **P17**

本明川をきれいにしゅう会
本明川河川敷の除草・清掃・コスモス等の植栽

特定非営利活動法人 拓生会
本明川河川敷への花の植栽による地域活性化事業

白川の清流と緑を護る会
河川愛護活動

小島校区まちづくり委員会
河川愛護活動による地域活性化

宇城、八代、芦北・水俣地域風景街道設立準備会
宇城、八代、芦北・水俣地域風景街道設立プロジェクト

花緑自治公民館
花緑柳河原川クリーン作戦 **P17**

赤江未来の会
魅力あるふる里の川づくり

環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業 **[9団体]**

遠賀川源流サケの会
鮭稚魚の孵化・育成・放流事業

直方川づくり交流会
リバーチャレンジスクール **P18**

自然と暮らしを考える研究会
ふるさとの水辺を生かす体験学習と人材育成 **P18**

道守九州会議
道守九州会議における若者主体の交流活動 **ZOOM UP P19**

特定非営利活動法人 アザメの会
アザメの瀬閑連事業 **P18**

天満町自治会
本明川魚つかみ取り大会

特定非営利活動法人 天明水の会
環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業 **P19**

山崎川をきれいにする会
自然体験学習支援事業 **P19**

始良川河川愛護会
ラブリバー団体支援事業

河川・道路等の愛護活動支援事業 **[78団体]**

不知火町公民館
不知火町公民館 国道208号道路愛護・地域活性化等活動

けやき通り発展期成会
道路等の愛護活動支援事業 **P20**

4町内環境美化委員会
国道208号道路愛護・地域活性化等活動事業

大牟田市民憲章推進委員会
大牟田市民憲章推進委員会 国道208号線街路美化活動

久大生コン内環境美化委員会
ボランティア・サポート・プログラム

よしいコスモス街道実行委員会
ボランティアサポートプログラム

ごみゼロ青春探検隊いとしま
地域活性化支援事業

たんぼぼの会
ボランティア・サポート・プログラム

野多目大橋花クラブ
ボランティア・サポート・プログラム

双葉工業株式会社
ボランティア・サポート・プログラム(VSP)

川原町老人クラブ
国道210号バイパス線歩道等清掃緑化活動

大和ハウス工業株式会社ボランティア活動の会
ボランティア・サポート・プログラム

福国・橋守マイスター会
福国・橋守マイスター会活動

高坊2丁目南町内会
町内美化活動・花植栽

松和会
国道201号線見立入口交差点及び周辺の美化と清掃活動

花と緑の会
一般国道10号小倉南区湯川新町地区花壇の管理道路美化清掃

NPO法人 門司港レトロ花の会
門司港地域における環境美化、整備、維持管理活動 **P20**

株式会社 田舎暮らし
美化・清掃活動

環境を守る会
道路愛護

農楽苦会
今宿チューリップまつり **P20**

葉隠会道守部会
一般国道34号外佐賀地区外道路美化活動

江北町女性ネットワーク
道路清掃及び美化活動を目的とした地域女性活動の活性化事業 **P21**

ロード・スターズ
ボランティア長崎

潮見小学校区町内連絡会
ボランティア活動(国道緑化、清掃活動)

共新電設工業株式会社
ボランティア活動(清掃)

クローバー・ロード清掃隊
ボランティア(清掃)活動

天満スマイルクラブ

ボランティア活動(国道緑化、清掃活動)事業

竹友会

ボランティア長崎

大菱電気工業 クリーン&グリーン推進隊

ボランティア活動(清掃)

玉東町 町区会

VSP 208号清掃、花壇管理事業

稲佐地区会

ボランティアサポートプログラム

八代ドライビングスクール職員組合

ボランティア・サポート・プログラム

株式会社 森工業

ボランティア・サポート・プログラム

大津町商工会女性部

道路の愛護活動事業(環境美化運動)

八嘉校区まちづくり委員会

ボランティア・サポート・プログラム

P21

南小国町ボランティア行動隊

道路及び河川敷の美化作業

豊友会

豊かな大分を目指そう大作戦(一般国道10号や大分川でのボランティア活動等を統合した名称としたもの)

P21

生石港町 自治会

国道10号線別大国道清掃美化活動

顕徳町老人会デウスクラブ

道路愛護活動

別府市上人ヶ浜町自治会

国道10号 道守花壇(別府市上人ヶ浜)活動

西生石自治会

国道10号 西生石地区道路美化活動

旭建設株式会社

ボランティア・サポートプログラム活動

都城市市役所10号線通り会②

ボランティア・サポート・プログラム

内海地区自治会

ボランティア・サポート・プログラム

日南海岸コバノセンナを育てる会

ボランティア・サポート・プログラム

バス停に花を飾る会

ボランティア・サポート・プログラム事業 ZOOM UP P22

富士区

ボランティア・サポート・プログラム事業

鶴戸山をかつとしやる協議会

ボランティア・サポート・プログラム事業

社会福祉法人つよし会つよし学園成人部

ボランティア・サポート・プログラム事業

小吹毛井区福祉推進会

ボランティア・サポート・プログラム事業

P22

日南市鶴戸小中学校

ボランティア・サポート・プログラム事業

大黒グループ

ボランティア・サポート・プログラム事業

宮崎日南生活ロード女性の会

ボランティア・サポート・プログラム事業

霧島会

ボランティア・サポート・プログラム

島山花いっぱい地域づくりの会

ボランティア・サポート・プログラム

青島地域まちづくり推進委員会

地域清掃活動

新上橋電車通り会

ボランティア・サポート・プログラム

草牟田通り会

ボランティア・サポート・プログラム

柴門通り会

ボランティア・サポート・プログラム

伊敷町通り会

ボランティア・サポート・プログラム

鹿児島市立河頭中学校

ボランティア・サポート・プログラム

鹿温会ボランティアグループ

ボランティア・サポート・プログラム

平山お達者レディースクラブ

ボランティア・サポート・プログラム

特定非営利活動法人 How to 21 Club

ボランティア・サポート・プログラム活動

麦生田西区自治会

ボランティア・サポート・プログラム

日置市高齢者クラブ連合会共進クラブ

ボランティア・サポート・プログラム

御陵下地区環境美化グループ

ボランティア・サポート・プログラム活動

河頭町内会

ボランティア・サポート・プログラム

株式会社アルファー

ボランティア・サポート・プログラム

郷之原夢築づくり協議会

VSP(220号清掃、植栽体管理活動)事業

札元商工親睦会

VSP(220号線清掃、植栽帯管理活動)事業

柘原地区振興会

VSP(国道220号線清掃・植栽管理活動)事業

たるみず折鶴

国道220号 垂水荒崎パーキング清掃他活動

新和技術コンサルタント株式会社

ボランティア・サポート・プログラム

花壇 坂の上

道路等の愛護活動支援事業

黒崎干陸地を守る会

本明川河川敷への花の植栽による地域活性化事業

大井手を守る会

大井手を守る会

津留地区ふるさとづくり運動推進協議会

花いっぱい運動及び清掃活動

P22

地域資源の活用による地域活性化活動
支援事業

[11団体]

みどりの里・耳納風景街道推進協議会

みどりの里・耳納風景街道PR事業

豊の国風景街道推進協議会

日本風景街道・豊の国歴史ロマン街道

唐津街道むなかた推進協議会

地域周遊観光促進事業及び街道活用促進事業

ながさきサンセットロード振興会

日本風景街道「ながさきサンセットロード」推進事業

P23

「つながる・ひろがる」やまなみハイウェイ実行委員会

やまなみハイウェイつながる・ひろがるプロジェクト

日本風景街道おおいた海への道推進協議会

日本風景街道おおいた海への道の推進

P23

九州横断の道やまなみハイウェイ協議会

日本風景街道「九州横断の道やまなみハイウェイ協議会」

P23

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

令和7年度 日豊海岸 浦ノ民話ツーリズム活用推進事業

P24

日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会

自転車旅のおすすめ事業

P24

かごしま風景街道推進協議会

かごしま風景街道周知啓蒙活動

ZOOM UP P24

薩摩よりみち風景街道協議会

薩摩よりみち風景街道スタンラリー

防災活動等支援事業

3団体

地域防災活動等

[3団体]

斜面崩壊と雨の降り方との関係と警戒避難システムの
実用化に関する調査研究委員会斜面崩壊と雨の降り方との関係に関するシンポジウム北九州2025
～豪雨災害の特徴から避難までを考える～

P27

災害歴史を学ぶ会

沈黙の語り部たちから災害歴史を学ぶ

P27

NPO法人白川流域リバーネットワーク

まちなか防災2025

P27

令和7年度に請求申請をした団体を掲載しています。

○の中の数字は掲載頁を表しています。

●の色の事業はZOOM UPのコーナーに掲載しています。

公益目的事業報告書

発行日／令和8年4月

発行者／一般社団法人 九州地域づくり協会

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10-35(博多プライムイースト4階)

TEL(092)481-3781 FAX(092)481-3785

<https://www.qscpua.or.jp/>

